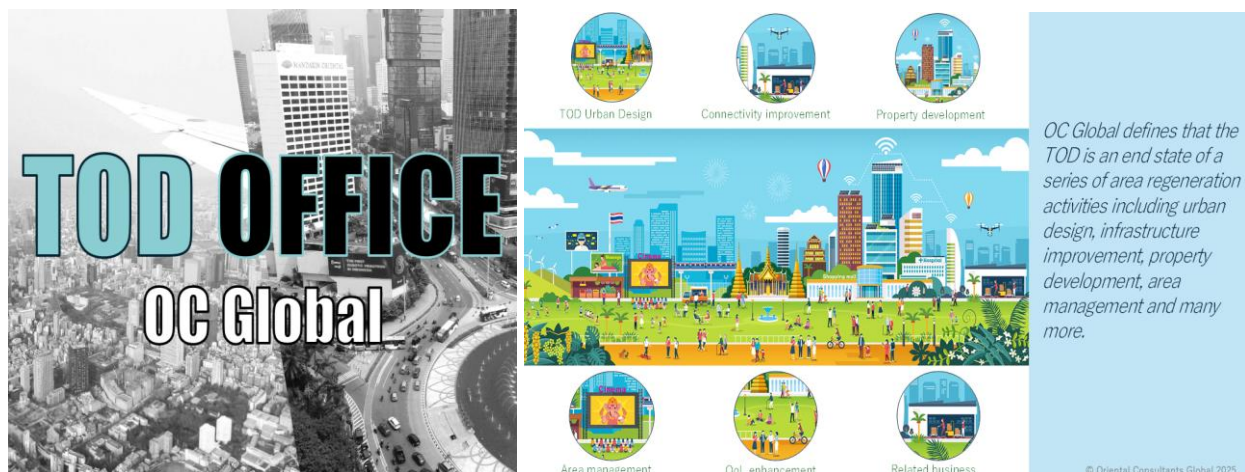


# 海外の公共交通志向型開発（TOD）検討業務

## 業務の背景

公共交通志向型開発（TOD）は、交通渋滞が都市問題となっている多くの都市で、公共交通と都市計画を統合する計画として推進されています。都市政策や上位計画として公共交通優先の都市づくりを推進するプロジェクトから、駅周辺の交通の利便性を高めるとともに、商業、業務、住宅、公共施設などの都市施設を配置する都市開発まで、スケールの異なる計画を実施しています。また、日本の支援により、多くの新興国で都市鉄道プロジェクトが実施されており、調査、計画、設計、および施工管理業務などを行っています。この際に計画される駅周辺の TOD の検討を行う業務も増えつつあります。このような駅周辺の開発を推し進め、公共交通優先の都市を作ることで、新興国の多くの都市の発展につながることが期待されています。

また、オリエンタルコンサルタンツグローバルでは新規事業推進部 TOD 推進室を立ち上げ、都市計画段階から鉄道の実施段階にわたって TOD の検討を行う組織として、部署を超えた連携を図っています。



## 業務概要

現在オリエンタルコンサルタンツグローバルが実施している TOD の計画策定業務、または、計画中／実施中の都市鉄道業務では、駅周辺の TOD のコンセプトに基づく都市開発計画を作成する必要があります。現時点では、計画中のジャカルタ MRT 東西線プロジェクトを想定します。このプロジェクトでは、東西線の計画駅の中から TOD ポテンシャルの高い駅を選定し、都市開発の計画を策定する予定になっています。

\*ただし、プロジェクトの進捗やインターンシップ実施時期の都合から、対象とするプロジェクトは変更になる可能性があります。

## インターンシップ研修内容

計画されている都市鉄道の駅で TOD の計画を策定してもらうことを想定しています。実際にはプロジェクトの状況に応じ、インターンシップ内容は変更になります。

- ・ 上位計画や既存計画における TOD コンセプトの確認
- ・ 鉄道路線の駅のうち TOD ポテンシャルの高い駅の抽出
- ・ 対象とする駅周辺の現況および都市課題の整理
- ・ 対象とする駅周辺の TOD 計画の策定
- ・ クライアント、プロジェクトチームの会議への出席
- ・ インターンシップ業務の社内会議での成果発表

## 対象者

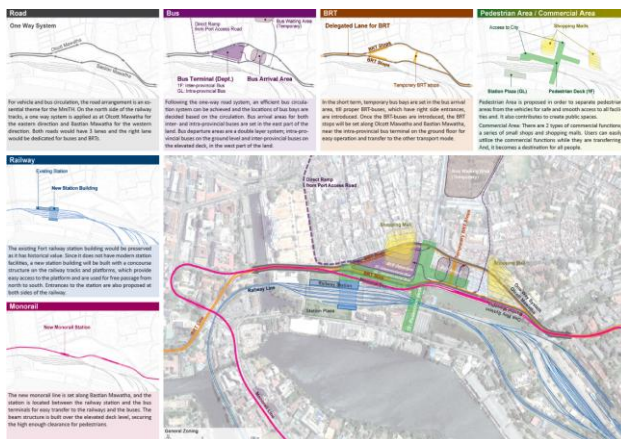
建築・都市計画系の M1 の学生を対象とします。特に、今回のインターンシップの内容から、建築学部で学士を取得し、現在都市計画の研究を行っている、または、都市計画に興味を持っている学生を優先します。

## 実施時期

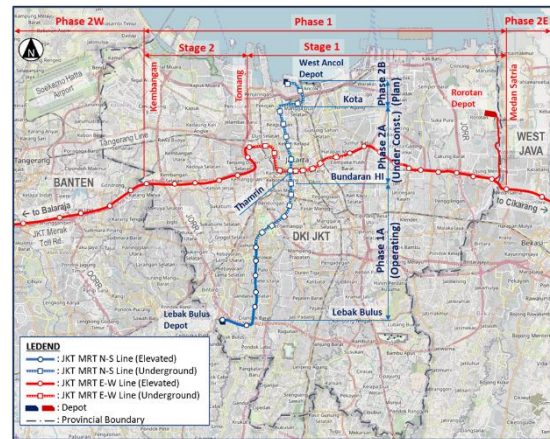
8～9 月頃の 2～3 週間程度、希望に合わせて時期は調整可能 \* 応相談

## 募集人数

1～2 名



スリランカでの TOD 検討



ジャカルタ MRT 路線図 (JICA ウェブサイトより)